

管理運営評価シート(令和6年度)

施設名称	山北総合体育館 他7施設	評価対象年度	令和 6 年度
指定管理者名	特定非営利活動法人 悠遊さんぽくスポーツクラブ	所管課	生涯学習 課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	評価者(課長)	平山 祐子

1 令和6年度の実績

(1)事業実績

利用実績	利用者数(8施設):29,759人、スポーツ事業:12事業実施(参加者数1,776人)
サービス向上の取組	・職員打合せ及び研修会への積極的参加でなどで事業の充実に努めている。 ・ホームページやInstagramを開設しているほか、年6回以上クラブだよりを発行し、山北地区全世帯配布し事業案内や施設利用案内などを掲載。住民から好評を得ている。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (4年度)	前年度 (5年度)	当該年度 (6年度)	合計	備考
収入	指定管理料	39,133	38,820	38,678	116,631	基本協定額: 193,929 千円
	利用料金	567	590	616	1,773	
	事業収入	614	577	576	1,767	
	自主事業収入	42	174	78	294	
	その他	0	0	4	4	
	収入合計 ①	40,356	40,161	39,952	120,469	
支出	人件費	16,170	16,181	16,117	48,468	
	福利厚生費	2,606	2,564	2,552	7,722	
	事務費	1,023	1,853	2,101	4,977	
	管理費	15,254	15,313	15,146	45,713	
	水道光熱費	3,898	3,875	3,286	11,059	
	修繕料	773	769	769	2,311	
	使用料・リース料	1,129	1,207	1,242	3,578	
	手数料・保険料	287	255	384	926	
	委託料	9,167	9,207	9,465	27,839	
	事業費	2,030	941	785	3,756	
	自主事業経費	65	65	65	195	
	その他	2,769	2,733	2,944	8,446	
	支出合計 ②	39,917	39,650	39,710	119,277	
収支差額(①-②)		439	511	242	1,192	

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある ー:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1) 指定管理業務実施上の課題

- 現行協定期間は5年であるが、5年先を見込みを立てるのは難しい
 - ・スポーツ事業の計画・積算が難しく、変更がしにくい。
 - ・光熱水費以外の諸物価高騰対応も難しい。
 - ・近年最低賃金の上昇率が高くその対策対応が仕様書にないため、4年前の賃金水準を基準に積算された委託料の一部で本クラブの負担が発生している
- 職員の確保
 - ・現行協定で人件費について一定の増額がなされたが、安定的な賃金アップが見込めないと若手職員の雇用継続は難しい。

(2) 課題解決に向けた取組

- ・現行協定期間は5年であるが、5年先を見込みを立てるのは難しい
 - ⇒ 市当局の理解と自助努力
- ・職員の確保
 - ⇒ 年次的に賃金積算をアップする仕組みを市当局に要望したい
 - 指定管理積算以外、委託事業を増やすなど賃金財源確保に努めている

(3) その他

①利用者からの主な意見や苦情、対応策

- ・山北総合体育館ロビーに意見箱を常設。また、職員や当直代行員等への意見や苦情に対し、迅速に対応している。
 - 第1段階 職員で共有しての意見や苦情に対応
 - 第2段階 本クラブ正副理事長等に協議しての対応
 - 第3段階 山北教育事務所又は生涯学習課スポーツ推進室への報告と協議

②その他

- ・市当局には、運用している内規も含め、施設使用料の見直しを行ってほしい。管理経費は確実に増加している中、使用料収入が増えることで、市当局が負担する指定管理料の低減も図れることになるもの。
- ・歩こうむらかみプロジェクトの登録者が年次的に増加していることで、施設使用料収入が減少する傾向にある。同プロジェクトの登録者年齢の段階的引き上げや同プロジェクト推進部局で使用料収入減額分の補填等を市当局で検討してほしい。

4 全体的な評価

(1) 指定管理者の評価

施設利用者の満足度を高められるよう、職員(臨時職員を含む)と夜間・休日の当直代行員が連絡を密にしながら対応は今後も継続しなければならない。6人の職員中、3人は指導系でうち健康運動指導士2人、健康運動実践指導者1人がいることで、市介護予防事業などにも積極的に取り組んでいる。総合型地域スポーツクラブ登録クラブとして認定され活動の充実に努めている。設立から10年を経過したことから今後、持続可能な経営を推進するための方策を検討し、今年度から一部実施できた。また、「NPO法人さんぼくスポーツ協会」から「NPO法人悠遊さんぼくスポーツクラブ」へ名称変更し、新しいスタートの年となった。本クラブ設立時の基本理念「山北地区住民がスポーツを通じて元気になり、山北地区がスポーツを通じて活気づく」を念頭に、住民から必要とされる団体でいられるよう、地域貢献活動にも少しずつ取り組んでいる。住民や施設利用者、事業参加者からは一定に評価がなされているものと思います。更なる前進を目指していきます。

(2) 施設所管課の評価

利用者の満足度を高めようと職員間連携を強化し、介護事業等に取り組む積極的な姿勢が良い。継続してもらいたい。利用者等から寄せられた意見等に対して、役員等と連携しながら段階を踏んで迅速、かつ適切に対応しており、それにより利用者等との良好な関係性を築いているところは良い。

取組を継続している地域貢献活動は、まちづくりや地域振興に寄与している。

(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)

地域貢献につながる取組は継続してもらいたいが、地域まちづくり協議会等の団体との連携を密にし、一層の取組を期待する。利用者との良好な関係を保ちながら、適正な施設管理と利便性やサービスの向上に努めてもらいたい。事業の改善、創意工夫を凝らした事業の企画立案等を行うなど、地域福祉の増進や地域貢献の向上にも取り組んでもらいたい。新たな収入確保と経費節減に努め、適切な管理運営を行うよう努めてもらいたい。